

議題（１）

（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所

（参考資料）

特徴的な展示事例

（延床面積 1,000 m²前後の施設）

姫路市平和資料館

設立主体：姫路市

運営者：姫路市

所在地：姫路市西延末475番地(手柄山中央公園山上)

開館年月：平成8(1996)年4月26日

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日：毎週月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始

入館料：一般:200円 / 小中学生:50円

延床面積：1,140m²



空襲から逃げる人々を表したジオラマを中心に背景となる映像、そして空襲警報やサイレン等の音響や照明、振動等を合わせ、複合的な演出を用いて、その恐ろしさを表現している。



舞鶴引揚記念館

設立主体：舞鶴市

運営者：舞鶴市

所在地：京都府舞鶴市字平1584番地 引揚記念公園内

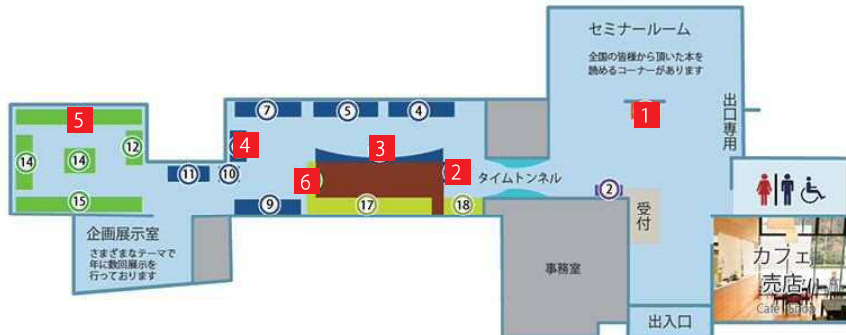
開館年月：平成10(1988)年

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：12月29日～1月1日、毎月第3木曜日(8月と祝日を除く)

入館料：一般300円 / 小・中・高・大学生150円

延床面積：860m²



引き揚げ船で時間を知らせていた鐘。
ヒモを持つと音が鳴る。



赤紙の展示。



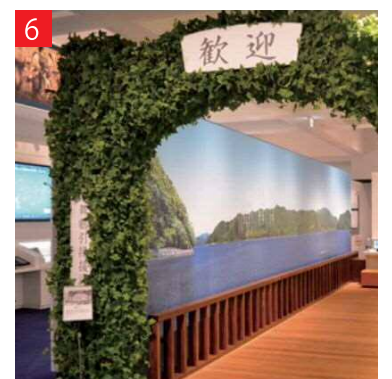
度々行われた持ち物検査をくぐり抜け奇跡的に持ち帰られた「白樺日誌」を展示。



ラーゲリー(収容所)での食事の様子を再現。



引揚船の模型、船内で使用した鐘の展示。



歓迎アーチと引揚棧橋の再現。

予科練平和記念館

設立主体：阿見町

運営者：阿見町

所在地：茨城県稲敷郡阿見町大字廻戸5番地1

開館年月：平成22(2010)年

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日

入館料：一般500円 / 小・中・高校生300円

延床面積：1,400m²



予科練習生を模したガラスケースが立ち並ぶ展示室1「入隊」では、少年たちがどのようにして予科練習生となっていたのか、その状況や入隊までの様子を、映像を交えて展示。



普通の少年から軍人へ。彼らがどのような生活を送っていたのか、寝起きした兵舎と勉強した教室を部分的に再現した展示室でその実情にせまる。



私物を入れた「手箱」とよばれる木製の箱を模した展示ケースのなかに、練習生たちの手紙の実物を展示。また、手紙を書き起こして本にしたものも自由に手にとって閲覧できる。



展示室の天井と壁面に映し出される映像によって、当時の状況や空襲の恐ろしさを擬似的に体感する。また、実際の空襲を体験した人たちが、その様子を映像のなかから語りかける。



予科練と「特攻」作戦のかかわりを、練習生の全戦死者約18,000人と同じ数の光が浮かび上がる展示室のなかで紹介。予科練平和記念館のメッセージを伝えるエピローグの展示。

長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

設立主体：長崎県

運営者：株式会社乃村工藝社

所在地：長崎市松が枝町4-27

開館年月：平成26(2014)年4月26日リニューアル

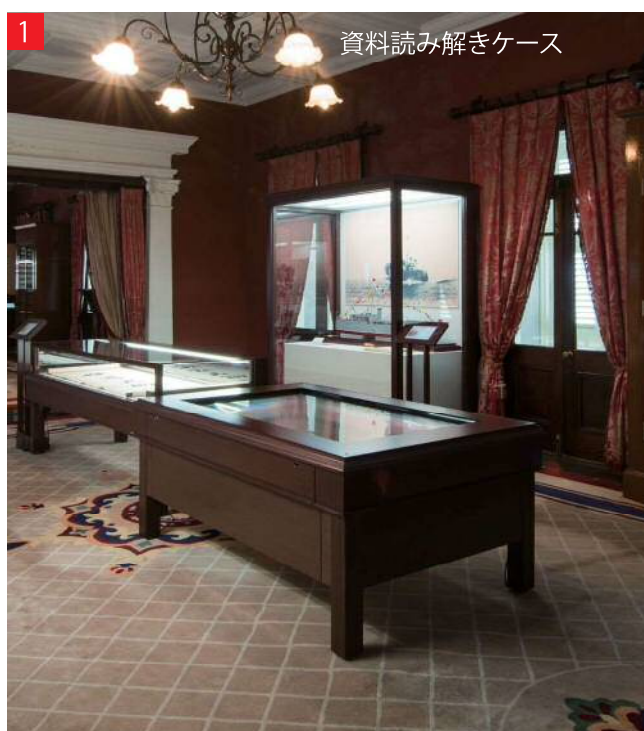
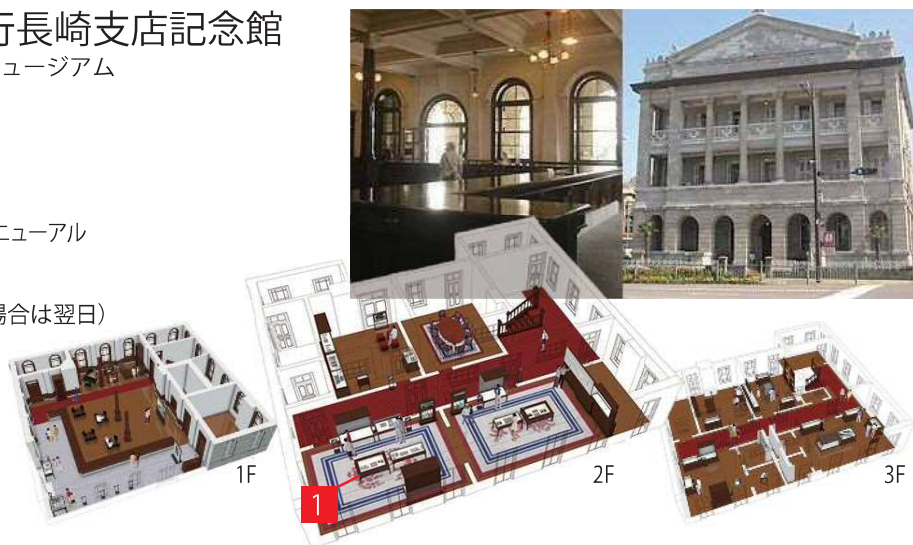
開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料：一般300円

小・中学生150円

延床面積：1,090m²



展示資料ケースのガラス面の代わりに透明液晶タッチパネルを装着した“資料読み解きケース”。展示資料をより深くわかりやすく読み解く解説アニメーションを資料に重ねて見ることができる。

装置のイメージ

